

感謝

平成二十四年十一月一日
平成二十四年十一月三十日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございます。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

金員・物品のご寄付

- ・北杜市小淵沢町 松村 年子 様
- ・北杜市大泉町 浅川 武人 様
- ・北杜市長坂町 小宮山 要 様

ボランティア活動

- ・レクボランティアほがらかグループ 代表 吉田 道子 様
- ・レクボランティアゆずつこの会 代表 佐野 恭子 様
- ・北杜市高根町 保坂 多枝子 様
- ・北杜市長坂町 青柳 昭次 様
- ・北杜市高根町 佐藤 美代 様
- ・都留市夏狩 和田 国明 様

愛寿会後援会へのご協力

- ・甲斐市下今井 吉田 幸四 様

長坂町中丸の小宮山様よりリンゴのご寄贈

今年もたくさんの「リング」を頂戴しました。甘い香りにつつまれながら、おいしいリングの見分け方なども教えていただきました。



仁生園ショートステイセンター ― 送迎サービスを開始しました ―

施設ご利用の皆様やケア・マネージャーの方々から広くご要望をいただいていた、ショートステイご利用の際の送迎サービスを行うための福祉車両の整備事業が終了しました。

このサービスの狙いは、ショートステイご利用時のご家族様の介護負担の軽減を図ることや、仁生園の職員が付き添うことで移乗の際の危険防止に資するところにあります。

多くの方にご利用いただきたいと思っておりますが、福祉車両は一台しかご用意できていません。また、施設内での利用時間（食事、入浴及び日中活動等）を確保するために、送迎できる地域

が制約を受けること

になります。すべての方のご要望にはお応えできない状況ですが、ご利用についてのお問い合わせご質問につきましては、仁生園の相談員までお願いいたします。



職員紹介 ― 若手職員の抱負や如何に ―

仁生園ケアワーカー 青山 道子



この度、正規職員として働かせていただく事になりました。

早いもので仁生園に就職してから八年が経ちました。この八年間多くの事を学ばせていただきました。まだまだ未熟者の私ですが、自覚と責任感を感じたり、また、初心を忘れず業務に励んでいきたいです。利用者の方々に安心して生活が送れるように支援に努めていきたいと思っております。

仁生園ケアワーカー 中島 英子



仁生園に勤め、「介護」という仕事を初めた時は「自分にやっつけられるのだろうか？」と強い不安を持っていたことを覚えています。

そんな私が今日まで勤務できているのは、何も分からない私に沢山のことを教えて頂いた先輩職員のお陰であり、感謝したいと思っております。これからは介護福祉士の一人として、ステップアップできるように頑張っていきたいと思っております。

第二仁生園ケアワーカー 小林のりみ



十月より正職員となりました。これまで以上に責任ある立場となり、気を引き締め頑張りたいと思っております。

愛寿会のモットー、日常の心得「七つの誓い」をいつも頭に置きながら、利用者の皆さんと接していきたいと思っております。

愛寿会 たより

12 月号
第 162 号
平成 24 年
12 月 1 日発行



仁生園光庭にイルミネーションの飾り付けを行いました。夕暮れも早く、寒さも厳しくなっておりましたが、ほんのひと時でも幻想的な世界を皆様楽しんでいただければと思います。

愛寿会仁生園の発展のために

愛寿会理事 進藤 純世

私は平成二十四年七月二十五日、社会福祉法人愛寿会の理事及び評議員に委嘱されました。

不慣れではありますが、愛寿会がモットーとする①高齢者や障害者の利用者本位のサービスの実践、②専門性の活かせる職場づくり、③地域社会との協働と貢献が、より高くできますように、また、山梨県下の民間施設第一号として創設された、誇り高き愛寿会特別養護老人ホーム仁生園を、更に更に発展できますように、微力ながら職責を果たしてまいりたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、私と仁生園の係わりは、昭和五十八年に教職を退職して、ボランティアグループ「やまばとの会」に入会してからです。当時はまだ「ボランティア活動とは何ぞや」から勉強しなければ分からない時でした。

長坂の金曜会は、すでに仁生園への奉仕活動を定期的に行っており、色々と勉強させていただきました。

やまばとの会も、だんだん会員を増やし、仁生園の外回りの草取りや草刈り、入所者とのふれ合い、デイサービスの手伝い等をさせていただきました。

今回、当理事就任をきっかけに、新装なった施設の内部分ぶさに見学させていただきました。

①指定介護老人福祉施設「特別養護老人ホーム」定員一三二名、②指定短期入所生活介護事業所「シヨートステイセンター」定員十九名、③指定通所介護事業所「デイサービスセンター」定員三〇名、④指定認知症対応型共同生活介護施設「グループホームやすらぎ」定員九名、⑤「生活支援ハウスこあらま」定員九名、⑥指定居宅介護支援事業所「介護相談センター」⑦喫茶「いこい」⑧障害者支援施設「第二仁生園」定員三〇名、「短期入所」定員三名、いずれの施設も明るく、清潔に整備されていて、そこで働いていらっしゃる職員の方々の笑顔が素敵で、優しさが伝わってきました。

そのためでしょうか、利用者の皆様も明るく元気な様子でした。たまたま昼食前の排泄の時間に差しかかりました。ヘルパーさんが忙しく立ち働いている姿を拝見し、頭の下がる思いがいたしました。このような素晴らしい施設に入所出来た皆様は、本当に幸せだと思います。

歴代の理事長様の熱意と関係者の協力、職員の皆様のためなめ努力により、国や県、市町村、財団法人等の助成を頂き、このように理想的な施設が出来上がり、それを活用して福祉活動が展開されていることを改めて認識し、心から感謝申し上げます。

口腔ケア指導研修

高齢になっても、よく噛めておいしく食事をする事が出来る清潔な口腔を維持する事は大変重要です。最近、誤嚥性肺炎が口腔内の汚れや微生物と関連していることや、噛み合わせが、老人や認知症に及ぼす影響が分かってきました。



仁生園でも研究委員会の取り組みの中で、食後の口腔ケアの重要性を学び、毎食後の口腔ケアに取り組んできました。しかし、要介護状態の利用者の皆様の口腔内を清潔に保つという事は非常に難しく、口腔内の自浄作用も低下し、口臭などの問題も生じてきます。

より積極的に口腔ケアに取り組むため、歯科医師会に相談申し上げたところ、四月より大泉中央診療所の中島先生が毎月一回「口腔ケアに関する技術的助言及び指導」という形で指導して下さることとなりました。口腔ケアの必要性、基本的な技術、用具、リスクについての説明を受け、現在、口腔ケアの基本であるアセスメントに取り組んでいます。十一月現在入所者の三分の二のアセスメントが終了したところです。中島先生が一人一人の口腔内の状態を見て下さり、職員が記録し今後の対応を検討していく予定です。清潔に過ごせることによる生活の質の向上や、誤嚥性肺炎の予防を目指していきたいと思っています。

インフルエンザ予防接種

毎年この時期になると季節性のインフルエンザが急に流行します。その為、仁生園では、十一月から十二月にかけて予防接種を実施しております。

高齢者の方は感染すると重症化しやすいため、外からの持ち込み、面会時のマスク使用、手洗い・うがい等、広報及び玄関前の看板等にてお知らせしており、皆様のご協力のもと毎年利用者の感染者はでておりません。

職員に対しては、十月より出勤時手洗い・うがい、体温チェックをして、職員の体調管理を来年六月まで実施し、予防接種も実施しております。今年も仁生園全体で感染者を出さないよう努力していきますので、ご家族、来園者の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



愛寿会 嘱託医 溝口康司先生 による
インフルエンザ予防接種の様子

おめかしの日

月に一回行われる「おめかしの日」。「化粧なんて恥ずかしいよ...」「こんなおばあさんだから...」と最初は尻込みされる方も、乳液でお肌をマッサージさせて頂くと気持ちよさそうにリラックス。薄くファンデーションを塗り、紅を注すと見違えるほど表情が明るくなります。

「あら、綺麗！すごいいいですよ」と周りから次々に声を掛けられニッコリ。「どこかへお出掛けですか？」と問われ「お嫁に行くの！」と元気な返事に皆で大笑い。

「おめかしの日」、化粧をするだけで入所者の皆様の気持ちが生き生きと高揚し、若々しくなることに驚かされると共に、お手伝いをさせて頂く側も喜びを分けて頂く楽しい時間となっています。

毎月恒例で実施しているレクリエーションとしては、絵手紙、模擬喫茶、映画会、華道、居酒屋等がありますが、どれもいろいろな方の協力の元に成り立っています。入所者の皆様に楽しみや張り合いを持っていただき、より質の高い生活を送っていただける様、今後も工夫を重ねていきたいと思っています。



仁生園デイサービスセンター

北巨摩の冬の風物詩

デイサービスでは今年も甲州百目、甲州丸の二種類の渋柿を用意し、十一月の恒例行事となっている北巨摩の冬の風物詩『つるしんぼづくり』を職員と利用者の皆様で行いました。



また、今年は利用者の皆様より兼ねてからリクエストのあった『きつぽしづくり(玉豊)』も楽しみました。皆様、昔から慣れた親しんだ越冬のための作業に大変喜ばれておりました。

仁生園で不在者投票が行われました

平成二十四年十一月十五日(木)、仁生園に入所されている皆さんが北杜市議会議員一般選挙の不在者投票をされました。

仁生園では代理投票を依頼する皆さんが多数ですが、中には自分でしっかりと投票用紙に記載して投票箱に入れていました。本当にご苦労さまでした。



生活支援ハウス「こあらま」

菜園行事大賑わい

今年の目玉は、ベランダでプランターを使った野菜作りにチャレンジです。春から、さつま芋、二十日大根、チンゲン菜、かぼちや、きゅうり、陸ひじき、春菊、白菜、大根、玉ねぎ、スナップエンドウにスイカ。できないものが無いくらい！

種蒔き、草取り、水・肥料やりと支援ハウスの利用者が協力しながらできる範囲で自主的に作業をすすめて頂いたおかげで大成功、大収穫でした。さつま芋は、鉢の底で「べたっ」と餅のように丸くなるのかな？



行先の無くなった大根の先は底で大きくなるのかな？曲がるのかな？はたまた、突き上げられてぬけてくるのか？作業が終わった後の参加者全員で飲むお茶会は、冗談なのか本当なのかで大賑わい。来年は、もう少し多く作付して無人販売にでも出しましょうかと利用者から声を掛けられ、主催者側は途方に暮れています。

第二仁生園

紅葉狩り&ショッピング

第二仁生園では、紅葉狩りを兼ねて毎年この時期にショッピングや外食に行っています。十一月九日清里に外食、十一月十四日に甲斐市のショッピングモールで外食とショッピングをしました。両日とも天気恵まれ紅葉も見頃でした。「今年は特に赤い紅葉が見事だね。」と感激の様子でした。



麦の家職員と研修交流を行いました

十一月二十七日、甲府市中心経寺町の障害者支援施設麦の家へ第二仁生園の職員五人が出向き、研修交流をしました。

一九八六年に開設された麦の家は、利用者様の九割が東京都内で比較的軽度の方が利用されています。支援の内容も自宅や友人宅への帰宅支援や、送迎のみを行い利用者様がフリーに過ごす外出支援等、当園とはまた別の支援も行っており大変実になる研修会でした。これからも、利用者本位のサービスの提供を基に精進していきたいと思えます。